

## 2025年の年頭に当たって

全日写連埼玉県本部委員長 古怒田 潔



あけましておめでとうございます。

日頃は県事業にご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

埼玉県本部の100周年記念行事は本年度から冠行事として県本部撮影会、来年度に写真サロンと埼玉の自然の二つのコンテストが予定されています。また総本部の記念コンテストは昨年9月から撮影期間が始まっており本年9月応募締切となっております。

県本部撮影会は伝統的な一泊バス旅行による自然風景と祭りの撮影を対象に計画を進めており、ここ数年の間加入された新会員の参加もあり、会員相互の交流による盛り上がりが見込まれます。二つのコンテストはコロナの期間を過ぎて応募者の顔の見える手づくりコンテストとして定着を進めている段階です。

写真教室は参加者との対話を重視したワークショップ方式で非会員の参加が増加の傾向にあり、少子高齢化が見られる現在、仕事から離れて趣味の世界へ模索される中高年層に直接呼びかける窓口を持つ団体として地道な会員開拓の努力を継続したいと思えます。

情報の伝達は電話や郵便、テレビや新聞からSNSの世界へと移動しつつあり、記念コンテストではデータによる応募もあります。県本部もホームページの広報化やメールによるネットワークの拡大が要求されます。次の100年に向けて本年度の県本部事業にご理解をいただき、ご協力を賜ようお願いいたします。

みなさまのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

### 特集

## 2024首都圏ブロック撮影会「南越谷阿波踊りとレイクタウン」フォトコンテスト

最優秀賞

「雨の奴唄」



村木文明 埼玉・フォト菫支部

講評

豪雨にさらされながらも踊り続ける二人のコンビネーションをうまくフレーミングしています。奴唄の踊り手を点景に入れて前面には風を引く踊り手の姿勢と表を良いタイミングで写しとめました。雨の中でも踊る情熱を感じます。

朝日新聞社賞

「僕達も頑張っています」



須藤義秋 千葉・柏支部

講評

子どもたちが踊って決めポーズを作っている場所に西日が射し込んでいます。スポットライトのどく光輝き子供たちを浮き上がらせています。光の読み方、扱いのうまい構成でひととき目立つ秀逸作品です。

全日本写真連盟賞

「フィナーレ」



橋本 勇 埼玉・越谷デジタル支部

講評

これも雨の中で流し踊りをする連の人たち。浴衣から濡れて肌にまつわりつく様子やそれでも楽しそうに踊り続ける表情が印象的に目に飛び込んできます。雨ならではの地面のリフレクションの効果も功を奏しています。

関東本部委員長賞

「男踊りの妙技」



小島為玖生 神奈川・旭支部

講評

舞台上の男踊り、ジャンプして三人が踊っているのですが、よく見ると四人なのですね。一人の人が連写によって写し込まれたような錯覚を感じてしまいました。見事なまでのコミカルな四人の呼吸の合った瞬間をうまく写し込んだ腕前に拍手です。

首都圏ブロック委員長賞

「部活帰り」



肥後一隆 埼玉・川口支部

講評

夕暮れに迫る水辺をひと休みしながら、今日一日の反省会でもしながら家路に着こうとするつかの間のリラックスタイムを感じさせられます。シルエットにしたことでその場の雰囲気想像させられます。

### 首都圏ブロック撮影会写真展開催

朝日新聞東京本社2Fコンコースギャラリー

2025年1月21日(火)～2月3日(月)  
AM10:00～PM7:00